

平成25年度 教師対象学校評価アンケートによる所見

【教育方針】

「責任を持つ」「希望を持つ」「誇りを持つ」の校訓のもと、生徒自身が自らの適性・長所を見つけ出し、自覚し、生涯を通じて学び続ける人間を育成する。慈しみ育てることで、優れた人間へ成長させる。

【努力目標】

- ① 確かな学力の定着
- ② 創造性豊かな人間性の涵養
- ③ 健やかな身体の育成

評価基準	A	十分達成している
	B	概ね達成している
	C	どちらかという達成されていない
	D	ほとんど達成されていない

項目	具体的方策	評価(平均)	昨年との比較	成果と課題
学校組織	1 各部や学年等は連携が取れており、教育課題解決のためによく機能している。	C	＼	毎週の会議に加え、さらに連携を高める機会が必要である。
	2 職務が円滑に遂行できるよう、職員室などの執務環境が、整備されている。	B	－	ネットワーク環境や設備は十分に整備されている。メンテナンスもなされている。
	3 プライバシー保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理体制が確立されている。	B	－	情報セキュリティ委員会により内規が定められており、個人情報の利用目的は明確にされている。
公情報	1 学校のホームページを通じて、教育活動に関する情報を公表し、定期的に内容を更新している。	A	－	毎日更新されており、情報公開の手段として活用されている。
	2 行事や進路情報等、学校の情報を保護者に提供している。	B	－	年2回の保護者会やホームページを通じ情報公開に努めている。
課程教育	1 教育方針の実現を目指して、生徒の実態を考慮した適切な教育課程を編成している。	B	－	多様な希望進路や新課程に対応したカリキュラムを編成している。
	2 授業アンケート、保護者懇談会等を通じ、生徒の理解、関心の度合いをはかりながら授業改善に努めている。	C	＼	授業アンケートは実施していない。今後の授業改善のために検討したい。
学習指導	1 教科指導は学習指導要領に基づき、教科内で検討・作成された年間計画により適正に行われている。	B	－	シラバスを見直し、より良い指導計画を練ることが望ましい。
	2 教科指導において、生徒の実態を踏まえ、指導内容の工夫や指導方法の改善を行っている。	B	－	教科内で各コースに適した指導方針を立てる必要がある。
	3 成績不振者、不登校生徒等に対する学習指導について、十分配慮している。	B	－	成績不振者には追試課題をあたえ、不登校の生徒には家庭訪問をするなどし、状況に応じた対応をしている。
	4 評価方法について、各教科内において意見交換を行っており、評価は統一されている。	C	＼	各教科内での統一した基準を再確認する必要がある。
生徒指導	1 統一された指導方針のもとに、適切な情報交換を行い、一致協力して生徒指導にあっている。	B	－	生徒指導部を中心に行われており、各学年間の連携もとれている。
	2 基本的な生活習慣の確立をめざし、集団生活のルールやマナーを指導している。	A	－	ホームルームや学年集会などで統一された見解のもと行われている。
	3 教職員の共通理解のもと、不登校・相談室登校生徒の支援体制が確立している。	B	－	不登校に関しては担任を中心に学年全体で支援する体制がとられている。
	4 「いじめ」に対する取り組みは、全教員により意思統一が成されている。	B	＼	生徒指導部が中心となり指導方針がつけられている。
進路指導	1 進路指導室はいつも整理整頓されており、生徒自らが主体的に将来を考えるための条件が整っている。	A	－	資料がきちんと整理されており、常に生徒が利用しやすい環境が整えられている。
	2 学年ごとの具体的指導目標の設定と、生徒一人ひとりの進路相談の充実を図っている。	B	－	各コースごとに目標設定しやすいような環境づくりがなされている。
	3 生徒が望ましい勤労観、職業観を身につけることができるよう、各学年に応じたキャリアガイダンスを行っている。	A	－	多くのキャリアガイダンスを行っており、生徒も積極的に利用している。
健康・安全・教育の推進	1 生徒の体力向上、健康の保持増進に関する指導を学校全体を通じて行っている。	B	－	養護教諭が各学年の出席状況を点検するなどし、状況に応じて素早い対応がなされている。
	2 生徒会・運動部を中心に、救急救命講習等を実施している。	B	－	毎年運動部の生徒を対象に講習会を実施しており、参加生徒数も多い。
	3 非常災害時の対応について、避難訓練など生徒の安全指導及び緊急連絡体制が整備されている。	B	－	避難経路は掲示されており、避難訓練も毎年行われている。
人権	1 生命・人権の尊重、規範意識の高揚等に学校全体で取り組んでいる。	C	－	薬物乱用防止教室や、インターネット利用講習会などを行っている。
	2 奉仕の精神を涵養するとともに、ボランティアに関する体験的な活動を促している。	D	＼	人権教育・ボランティア活動に関する情報発信を増やすことが課題である。
活動特別	1 生徒会活動では、行事への積極的な参加や学校生活の充実改善を促進するよう指導している。	B	－	生徒会が中心となり、文化祭・体育祭などを企画・運営し、校内の活性化を図っている。
	2 部活動を通して、より好ましい人間関係を確保し、生徒が達成感を得たり、個性を伸ばしたりしている。	A	－	各大会でも好成績をあげ、人格形成にもおおいに役立っている。
研修	1 教職員は私学連合会等の研修講座、研究大会、学校訪問等で研修している。	C	－	私学連合会の講習や各教科の講習会に参加している。今後ますます多くの参加が望まれる。
	2 初任研をはじめ社会体験研修などを活用し、社会の変化に的確に対応できる教員の育成に努めている。	C	－	
	3 各教科で個別指導、グループ指導、一斉指導などの効果的な指導方法を研究し実践している。	C	－	習熟度別授業を一部取り入れている。生徒の実情をふまえた指導方法を模索する必要がある。
施設設備	1 学校の施設・設備は学習環境の面で満足な状態になっている。	C	－	今後、老朽化した設備の入れ替えなどが必要となるだろう。
	2 学校内での事故防止に配慮し、施設・設備の保守点検を行っている。	B	－	毎年必要な保守点検は行われている。より積極的な事故防止策が講じらるべきである。
	3 学校として、学校図書館の利用及び読書の奨励に努めており、生徒は本によく親しんでいる。	C	－	蔵書の整理や新刊の購入などがなされている。また、定期的に情報を発信するなど、生徒の利用を促している。今後は設備の充実が望まれる。
	4 コンピュータなどの教育機器や教材・教具を十分に活用した授業を行っている。	B	－	最新のコンピューターを用いた授業や模試・英検対策などが頻繁に行われている。
育友会・同窓会	1 総会・役員会・研修会等を通して、育友会活動は円滑に運営されている。	B	－	総務部を中心に各クラスの評議員と年に数回会議などを開いている。
	2 学校は、育友会活動のために教育情報の収集や提供に努めている。	B	－	育友会報などを通じて保護者に情報の提供を行っている。
	3 学校は生徒の状況等について、保護者と話す機会を多く持ち、教育活動に反映している。	B	－	年2回の保護者会以外にも保護者との連絡を取りながら対応している。
	4 在校生、卒業生は母校に誇りを持っている。	B	－	本校の校訓を胸に、責任・希望・誇りをもって日々たゆまぬ努力をしている。